

東京池袋豊島東ロータリークラブ Rotary  3070回
 Rotary Club of Tokyo Ikebukuro Toshima-East 第24回例会 2025/2/20
Weekly Report 
 会長:佐藤久雄 幹事:高木義男 RI会長:ステファニーA.アーチック 第2580地区ガバナー:石川彌八郎

本日の例会

2月20日(木)12:30~13:30
 クラブ研修会 長尾 益男委員長

次回の例会

3月6日(木)12:30~13:30
 卓話:小勝 基博様
 紹介者:米山 慶一会員

2月13日 例会報告

司会 加古会員
 開会点鐘 佐藤会長
 ロータリーソング・春よ来い
 ソングリーダー 佐藤(美)会員

☆会員総数 33名
 ☆出席規定適用者数 27名
 ★本日の出席者総数 22名
 ★免除者出席数 4名
 ★本日の出席率 70.96%

☆ゲスト
 今泉 宜子様 卓話者/明治神宮国際神道文化研究所主任研究員
 木村 則子様 紹介者



皆出席 19年 野口会員

【名著を読む】

トルストイ『イワン・イリイチの死』

一人の官吏が、不治の病となり肉体的にも精神的にも恐ろしい苦痛に苛まれ、死の恐怖と孤独に直面しながら、やがて諦観に達するまでの経過を描いた短編である。「いよいよお終いだ!」の言葉を聞いて、「もう死はなくなったのだ」という臨終の台詞で、この作品は終わる。(小泉博明)

山崎 克雄様 アプロ会会長/
 東京北ロータリークラブ
 丹治 隆様 アプロ会幹事/
 東京北ロータリークラブ
 棚川 恵温君 青少年交換派遣予定学生

会長報告

1. 皆出席 19年 野口会員
2. としまこども音楽フェスティバルの応募状況の報告応募者が少ないため期限を延長して募集活動を継続する。

幹事報告

1. 先週に引き続き、地区大会登録のお願いです。締め切りは2月20日です。



アプロ会(東京北RC)会長山崎様 幹事丹治様

ニコニコ

山崎様・丹治様 東京北ロータリークラブのアプロ会がカルガリー世界大会とサムナーロータリークラブ訪問の案内をさせて頂ける機会を与えて頂ける事に感謝します。

野口会員 19回目の皆出席のお祝いを頂きました。今後も会員の皆様と一緒にロータリアンとして務めさせていただきます。宜しくお願い申し上げます。

☆指定ニコニコ

社会奉仕委員会 佐藤(久)会員 激励のメール・Line 有がとうございました。無事予定より早く退院出来ましたので、ニコニコします。

本日の合計額：13,000円

今年度ニコニコ累計額：348,000円

今年度指定ニコニコ累計額：35,000円

12/19例会オークション合計額：47,000円

社会奉仕委員会報告

第2580地区 ロータリー財団地区補助金プロジェクト報告

豊島区立朝日小学校の児童からの感想文

令和7年1月14日(火)に実施した豊島区立朝日小学校から、5年生44名、6年生30名、合計74名の児童から心温まる感想文が寄せられたので、いくつかを紹介する。

(社会奉仕委員会 小泉博明)

東京池袋豊島東ロータリークラブ

代表 小泉博明様

先日、としまこども講談教室を実施していただきました豊島区立朝日小学校6年を担任しております鈴木千秋と申します。

講談教室では、実際に講談師の方の講談を聞かせていただくだけでなく、子供たちの体験もあり、とても貴重な景観をさせていただきました。ありがとうございました。

子供たちから、講談師のお二方へ感謝の手紙を書かせていただきましたので、お渡しいただけたらと思います。よろしく願いいたします。

豊島区立朝日小学校5・6年生一同

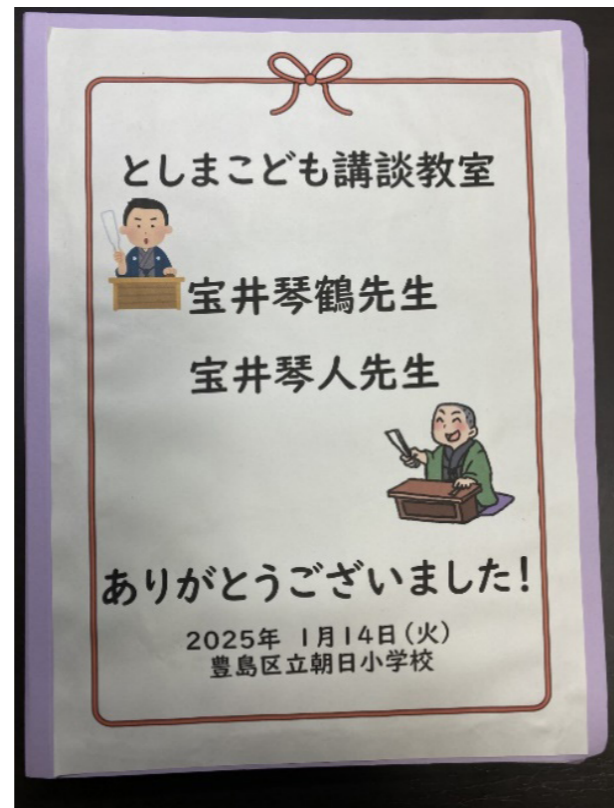
本日は、お忙しい中、朝日小学校におこしいた

だきありがとうございました。私は、祖母と落語を見に行ったのですが、講談は落語とは、また違っておもしろさがあり、とても楽しかったです。張り扇で釈台を叩くのが、意外にむずかしく、どうしてあんなにいい音が出るかと、不思議でした。また、もとの話をアレンジして、おもしろくするというにびっくりしました。アレンジするのは、そうとうな努力が必要だとおもいますので、がんばってください。最後の物語では、今回のためにつくってくれてありがとうございました。これからも、いろいろな所でがんばってください。

(5年N・A)

今日、初めて講談の面白さがわかりました。初めて講談を見たけど、面白かったです。他にも、しゃべる時に声を変えたりしている所が、すごいと思いました。でも、講談は一人でやる芸なので、色んな人数でやる芸とまたちがう面白さが、あるのがわかりました。講談が始まったとき、声や、動きに注目しながら見ました。しゃべり方にも注目しました。今日最後にやったお話が徳川家康のお話で、1から10まで書く漢字の書き順が、ちがう所が面白かったです。講談は、一人で色んな人の役を演じるのが、すごいと思いました。今日朝日小学校に来て、講談のことを教えてくれてありがとうございました。

(6年S・K)



2月13日 卓話報告



卓話者 今泉宜子様

[略歴]

勤務先 明治神宮国際神道文化研究所主任研究員
経歴 東京大学教養学部比較日本文化論学科卒業
雑誌編集者をへて、國學院大學にて神道を専攻。
2000年 より明治神宮に奉職、

2007年 ロンドン大学SOASにおいて、明治神宮に関する学位論文で博士号を取得。

著書 明治神宮戦後復興の軌跡、明治神宮 伝統を創った大プロジェクト、明治日本のナイチンゲールたち 世界を救い続ける赤十字 昭憲皇太后基金 の100年等がある。

昭憲皇后に学ぶ～平和への祈りと世界へのまなざし～

明治神宮国際神道文化研究所主任研究員 今泉 宜子

1) 赤十字<昭憲皇太后基金>の110年

私は代々木の杜の小さな研究所に奉職し、明治神宮の歴史を学んでいます。明治神宮は大正9年(1920年)に明治天皇とそのお后である昭憲皇太后を祀る神社として誕生しました。昨年、皇后が大正3年に崩御してから110年という節目あたりその命日に当たる4月11日から百十年祭があり、奉仕する機会がありました。

皇太后は、嘉永3年に京都一条家の三女として誕生になり明治元年十二月に御成婚され、第122代天皇の皇后となり激動の時代を歩まれました。

皇后は、特に女子教育の奨励や殖産興業、また社会福祉の分野に注目され慈愛の御心を注がれました。

ご服装も皇室史上初めて西欧の正装と宝冠、そして靴を履きましたが、その凛としたお姿には胸を打たれます。

新しい時代の女子教育にもたずさわれ、津田梅子・大山捨松・石井筆子をはじめお心をよせられました。

皇后は様々な役割をお果たしになりましたが、その中の<昭憲皇太后基金>についてお話いたします。

この基金は皇后が国際赤十字に、何度か寄付された金額から成り立っています。

一回10万円の寄付は、当時では3億5千万円に相当するといえます。

またさかのぼる事、平時救護の奨励にも力を注

がれ日本赤十字社の災害救護活動は1888年の福島県磐梯山の噴火災害から開始され、1892年からは日赤の規則に平時の災害救護が加わりました。

昭憲皇太后基金は、申請ベースで配分されジュネーブ合同管理委員会で審査されます。毎年3倍の応募があり一件350万円ほどですがこの110年のあいだで計172件の国と地域で役立っています。

基金の配分によって、どの国の人がなぜ支援を必要としているか。その事を私たちに教えてくれるのも基金の存在です。

2) 大礼服プロジェクト

今から10年前、昭憲皇后の崩御百年を記念して展覧会を開催しました。この時皇后のお召しになった3点の大礼服が展示され、話題となりました。

大礼服とは、最も格の高い礼服で、新年の拝賀式に用いる礼装とされ、皇后は明治20年1月1日の新年拝賀で初めて大礼服を召されました。

新衣(にいごも)いまだきなれぬ わがすがた うつしとどめるかげぞやさしき

皇后の心情を物語った和歌

古くなった大礼服(大聖寺保存)の修復が始まりました。

世界から3人の芸術員のもと修復がはじまり、大礼服の裏地の取り外しにより補強紙から制作は日本で行われた事がわかりました。

西洋の技法を用いた高度な染織を日本人の職人が行っていたことは、同時代の明治宮殿の優れた室内装飾から明らかです。

明治20年洋装を奨励<思召書>が下されたおりも、国産の洋服地をまた海外に縫製を注文するときも国産の生地を現地に送っていたことがわかっています。

西洋と東洋のエキスパートとまた次世代を担う若者。

昭憲皇太后のドレスは、国を超え世代を超えて人々に橋をかけました。

明治天皇が日本にどれだけの事をなされたかは、万人の知るところですが昭憲皇太后様がその天皇をお支えになられたか。

あの小さなお身体で国のために、凛としてどんなに尽力なされたか。

色々なシンポジウムで伺った後に、あのドレスを拝見すると改めて昭憲皇太后の素晴らしさと気概が直接伝わってくる気がいたします。

明治神宮に奉職して25年、これからも代々木の杜が人を結び、歴史をつなぐ希望の森でありますよう努力を重ねて参ります。

本日は有り難うございました。